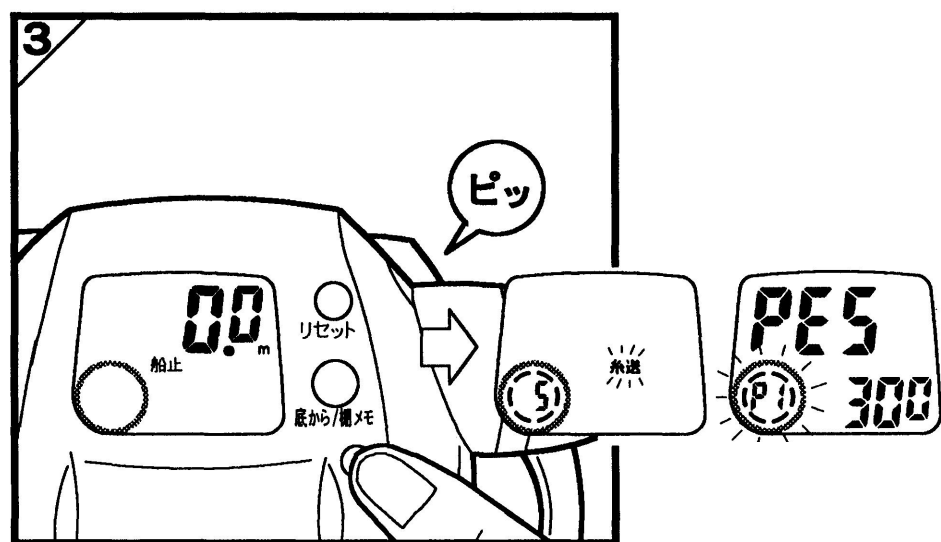
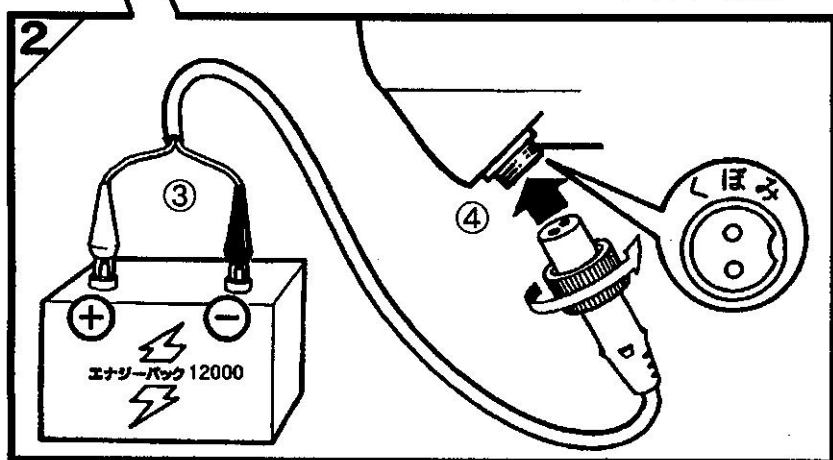
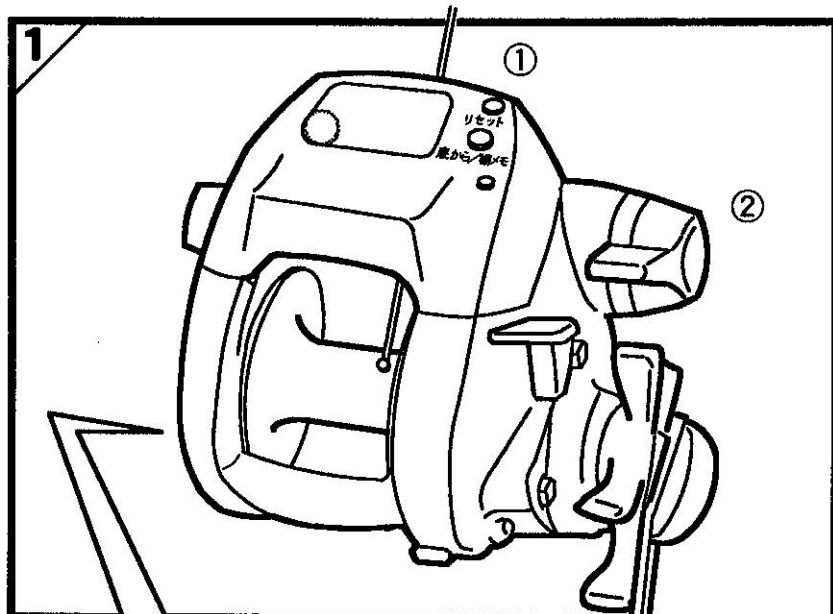


指定入力



指定入力とは当社「棚センサーライト」を巻くとき、データを入力するだけで道糸入力できる便利な入力方法です。
ただし、下記の場合のみ可能です。
下巻きをしない場合
データ一覧表に記載されている号数および巻き糸量の場合

道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

- 1 付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- 2 スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

レバーをOFFまで戻します。

ワニグチクリップを電源(DC12V)につなぎます。

赤キャップ プラス(+)
黒キャップ マイナス(-)

コードコネクターをリール本体に取り付けます。

コネクターは+-逆接防止のため図のような形状(くぼみ)になっており、ご注意ください。

最後まで道糸を巻いてください。

フィンガーガードに糸が当たるとリールが傷つくことがあります。糸が当たらないようご注意ください。

ご注意 最後に糸を巻き込まないようにしてください。

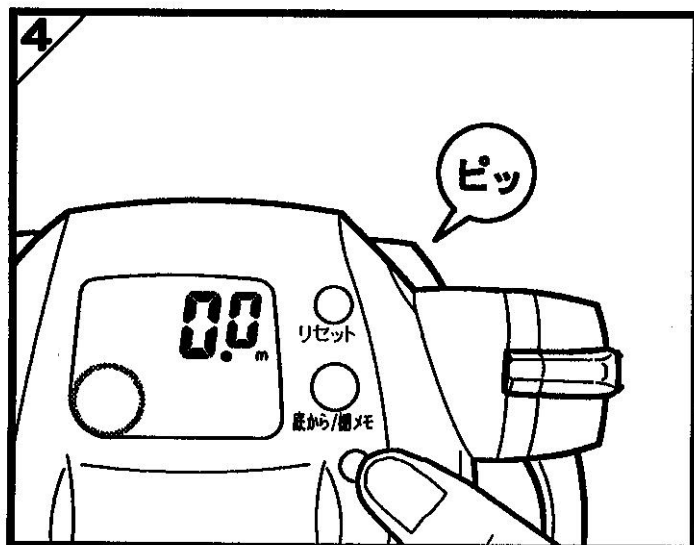
表示 **0.0m** のときに

モード スイッチを6秒間押し続けてください。

初期設定PE 5号 - 300mの画面になります。

2秒で糸送り画面、さらに押し続けると道糸設定画面になります。レバーを前に倒すと数値が上がります。レバーを元に戻すと数値が下がります。

「棚センサーブライト」を巻くとき、たいへんかんたんな入力方法です。



パワーレバーで数値がセ
ットできたら、**モード**
スイッチを押し、完了で
す。
(表示が **0.0m** に戻りま
す。)

データ一覧表

3号	4号	5号	6号
100m	100m	100m	100m
200m	200m	200m	200m
300m	300m	300m	220m
400m	350m		
430m			

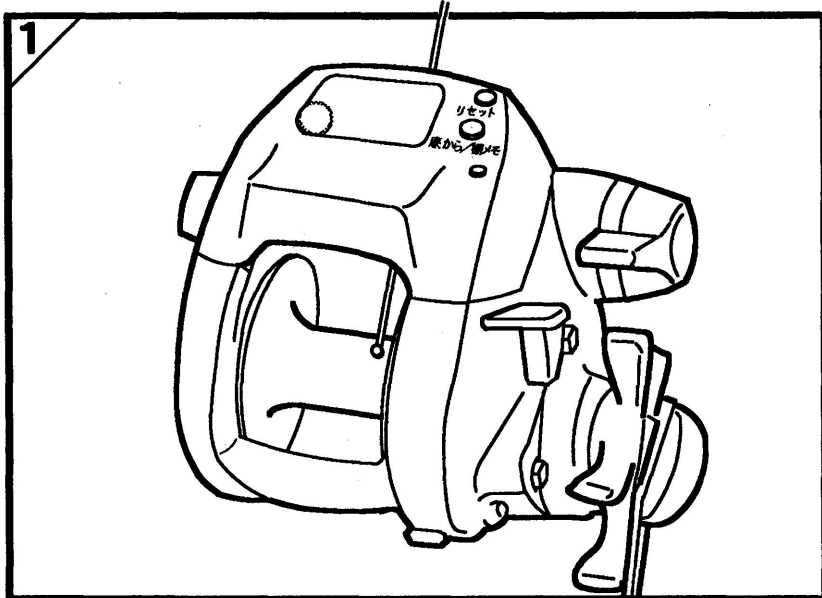
シーボーク400BDe・ハイパータナコンBDeには、あらかじめ「棚センサーブライト」5号 - 300mのデータが入力されています。

「棚センサーブライト」5号 - 300mを巻く場合は、データの 입력は不要です。

シーボーク 400BDe・ハイパータナコン 400BDe

糸長入力

ただし、リールに巻く糸の長さがわかる場合
〔「棚センサーブライト」を巻かれる方は、もっとかんたん
な入力方法もあります。(指定入力参照)〕



道糸をレベルwindに通してスプールに結んでください。

- 1 付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- 2 スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

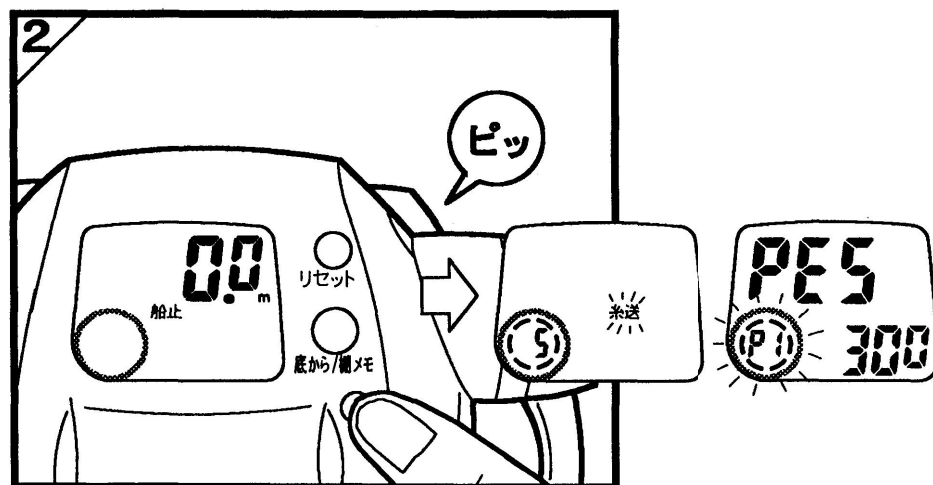
レバーをOFFまで戻します。

ワニグチクリップを電源(DC12V)につなぎます。

赤キャップ プラス(+)
黒キャップ マイナス(-)

コードコネクターをリール本体に取り付けます。

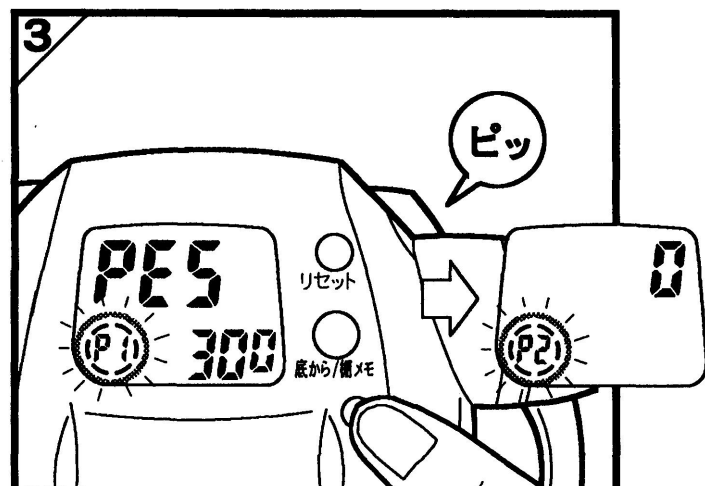
コネクターは+-逆接防止のため図のような形状(くぼみ)になっております。ご注意ください。



表示 **0.0m** のときに

モード スイッチを6秒間押し続けてください。

2秒で糸送り画面、さらに押し続けると道糸設定画面になります。



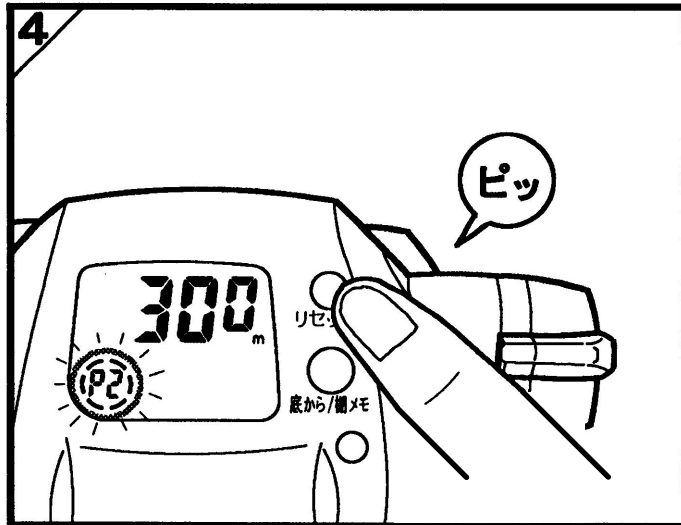
モード スイッチを1回押して入力画面にします。

(**P2** が点滅します)

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して道糸を巻いてください。



最後に巻いた糸の長さを入力する、便利な方法です。
(同じ太さの糸の場合だけです。)



巻き終わったらレバーをMINの位置まで戻します。

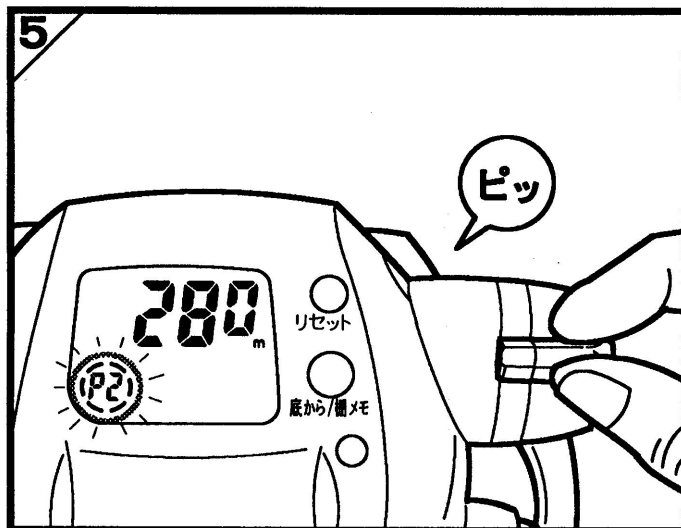
(アラーム音)

フィンガーガードに糸が当たると、リールが傷つくことがあります。

糸が当たらないようご注意ください。

ご注意 糸を巻き込まないようにしてください。

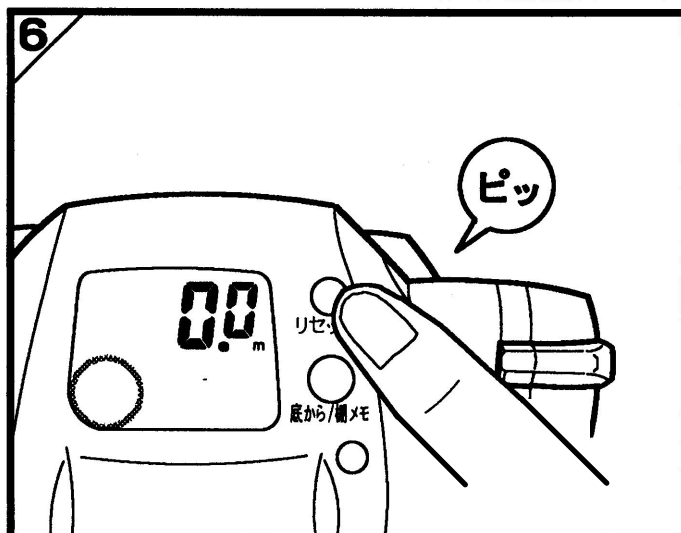
リセット スイッチを2秒以上、表示が **300m** になるまで押し続けてください。



パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

(図は、280m入力した場合です。)

(セットする数値は、10m単位です。)



リセット スイッチを2秒以上押し続けてください。

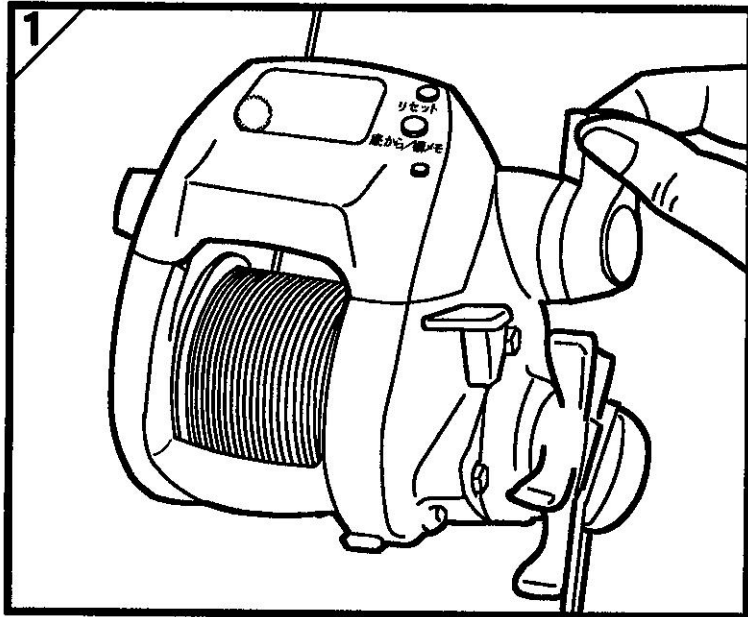
(アラーム音が鳴り、表示が **0.0m** になれば完了です。)

Err になった場合は、再度入力をしてください。

シーボーク 400BDe・ハイパータナコン 400BDe

下巻きの入力方法

(ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。)



通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、下巻き糸を適量まで巻いてください。

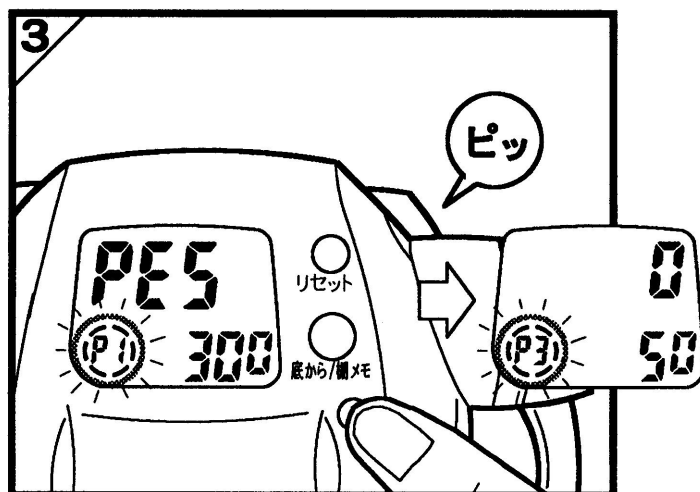
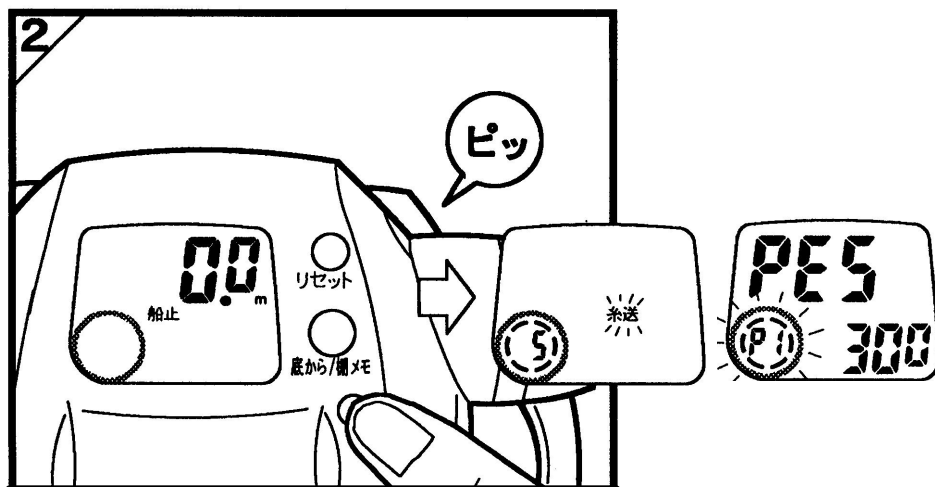
スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

道糸と下巻き糸を結び、道糸の糸色を見ながら残り100mまで巻き取ります。

(ただし、用意した道糸量が100mの場合すぐからへ)

モードスイッチを6秒間押し続けてください。

2秒で糸送り画面、さらに押し続けると道糸設定画面になります。

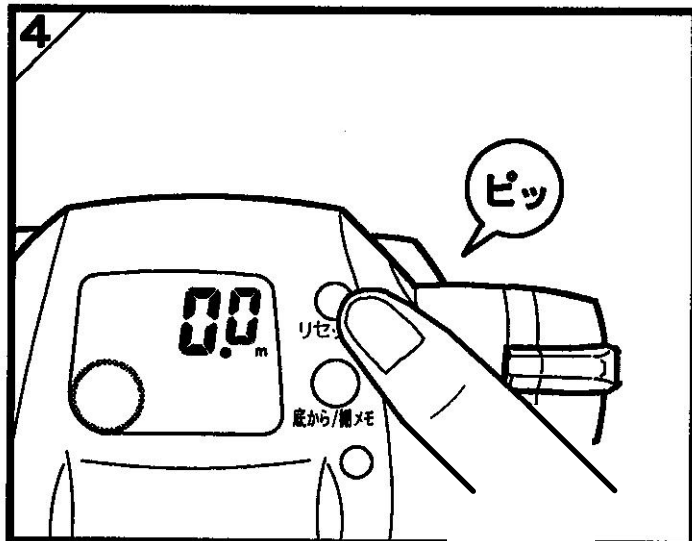


モードスイッチを2回押しして下巻き入力画面にします。(P3が点滅します。) 道糸の糸色に注意しながら50m巻き取り、リセットスイッチを2秒以上押し続けてください。

(下の数字が50 100に変わります。)



パネル左下の数字が4～5になるようにテンションを調整してください。



同様に残りの50mを巻き、
リセットスイッチを2秒以上押してください。
(表示が 0.0m になります。)
これで完了です。

フィンガーガードに糸が当たるとリールが傷つくことがあります。
糸が当たらないようご注意ください。

ご注意 最後に糸を巻き込まないようにしてください。
下巻き入力にて、入力した場合は100mを超える範囲では、糸長を表示しない場合があります。